

SID R 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第14号

第14週(4月1日～4月7日)

発行年月日:平成14年(2002年)4月12日
 発行:滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (14週)	累積報告数 (1週～14週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	3	4
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	3	5
	急性ウイルス性肝炎	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	1	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	2	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	14週	増減	8週～13週
インフルエンザ	0.92		5.08
咽頭結膜熱	0.03		0
A群溶連菌咽頭炎	0.31		0.39
感染性胃腸炎	4.03		5.06
水痘	2.44		2.05
手足口病	0.09		0.13
伝染性紅斑	0.34		0.39
突発性発疹	0.50		0.46
百日咳	0		0
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	0		0.01
麻疹	0.06		0.05
流行性耳下腺炎	0.88		0.92
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.29		0.33
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0.02
無菌性髄膜炎	0		0.10
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.14
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

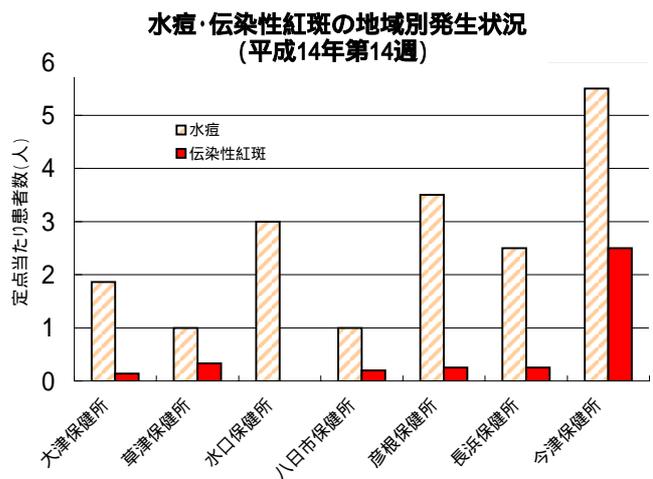
*増減は、平成14年8週～13週の平均に対する今週との比較
 増加 減少 変化なし

*太字は、今週の注目される疾患です。
 全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
 (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

3) 今週のトピックス

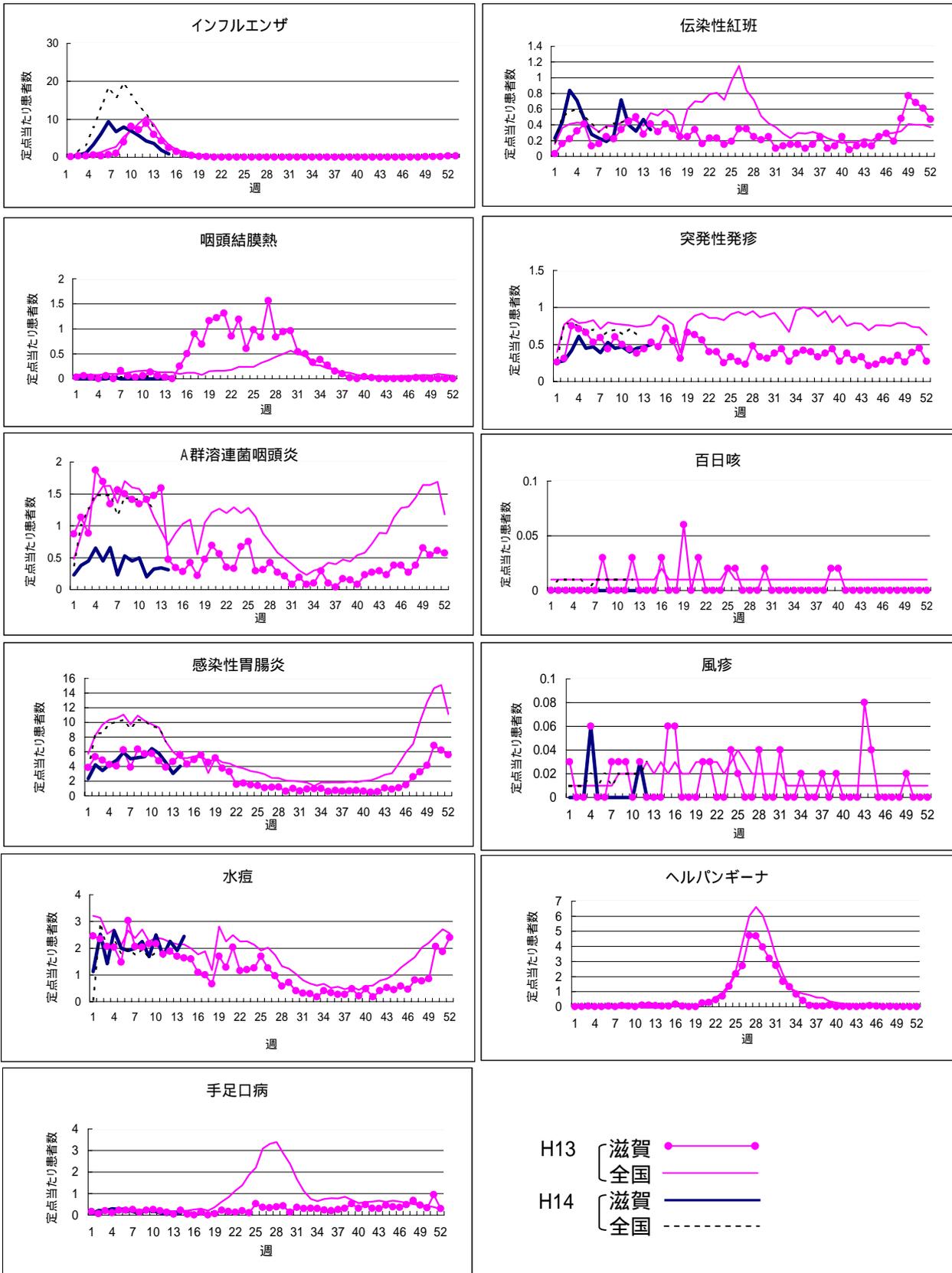
水痘、伝染性紅斑の発生状況に地域的な片寄り

滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年8週～13週の平均と平成14年の14週を比較すると、水痘、突発性発疹、マイコプラズマ肺炎等に増加傾向が見られます。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、全国の定点当たり報告数より高くなっています。また、水痘および伝染性紅斑の定点当たり報告数は今津保健所管内で高くなっており、保健所管内別の発生状況は下記のグラフのとおりです。

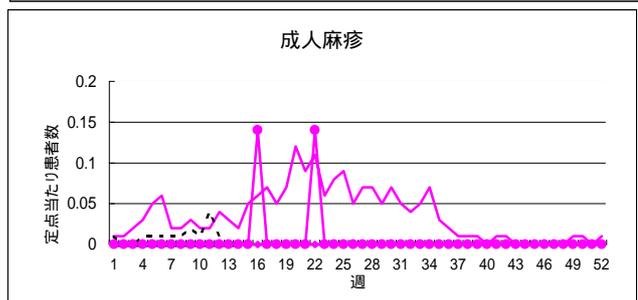
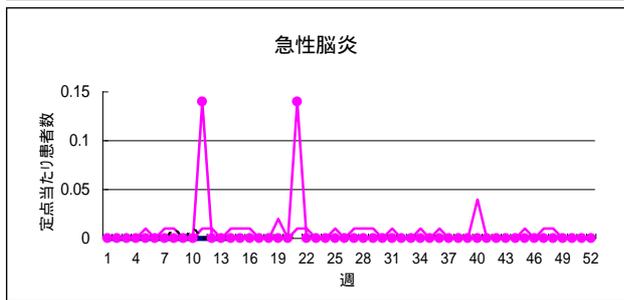
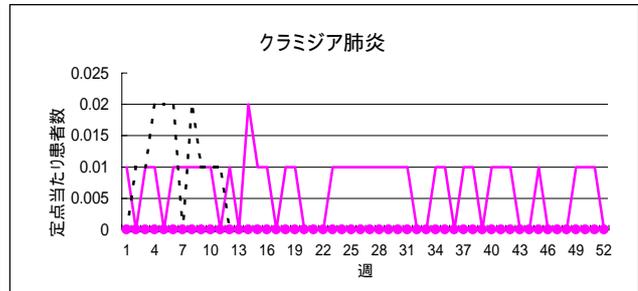
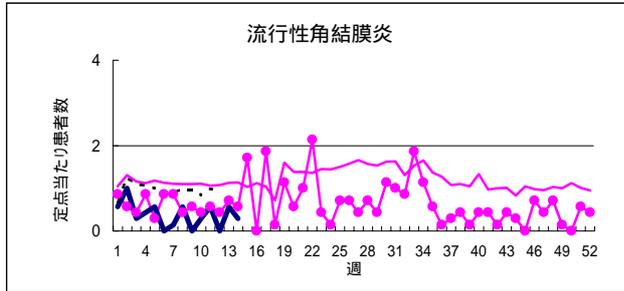
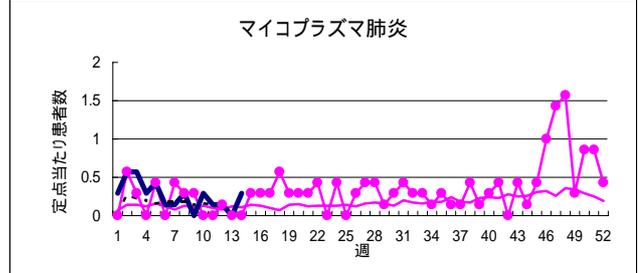
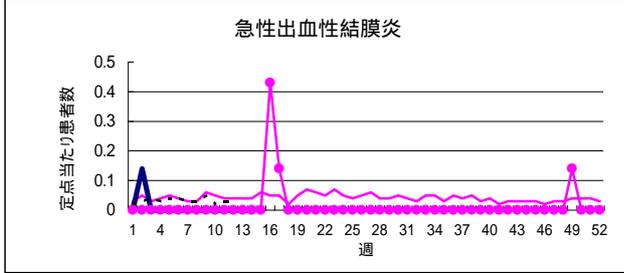
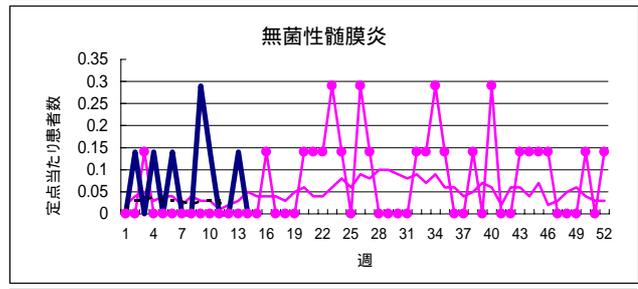
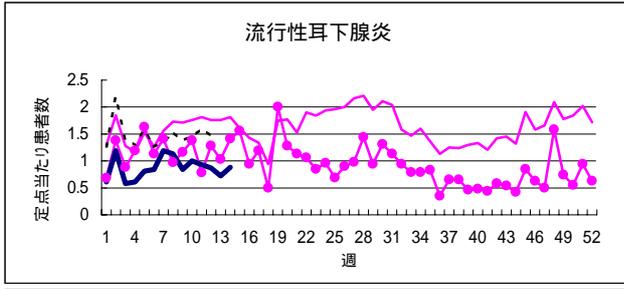
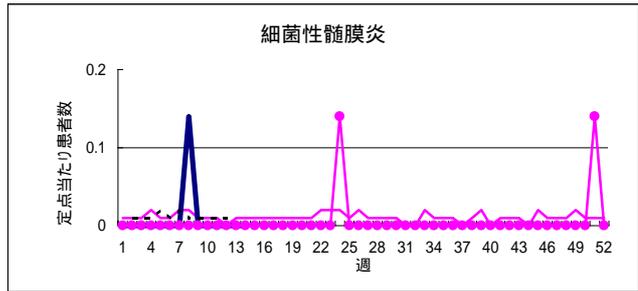
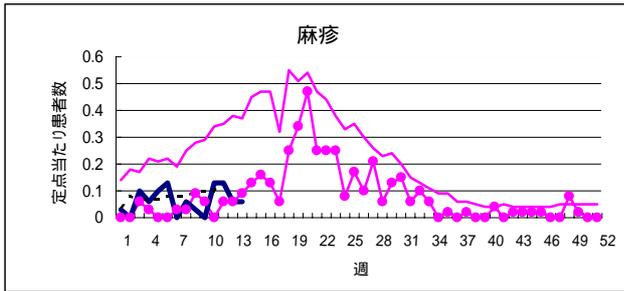


疾患名	保健所別定点当たり患者数(人)						
	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
水痘	1.86	1.00	3.00	1.00	3.50	2.50	5.50
伝染性紅斑	0.14	0.33	0	0.20	0.25	0.25	2.50

疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第14週)



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第14週)



H13 { 滋賀 ●——●
 { 全国 ————
 H14 { 滋賀 ————
 { 全国 - - - - -